

研究課題名	てんかんレジストリを用いた広島のてんかん診療実態の把握
研究責任者名	広島市立安佐市民病院脳神経内科 穴戸丈郎
研究期間	2021年 月(倫理委員会承認後)～ 2028年 3月
対象者	2021年 5月～ 2028年 3月の間に、広島市立安佐市民病院脳神経内科および共同研究機関において、てんかん（疑い含む）の診療を受けられた患者さん。
意義・目的	てんかんは100人に一人にみられる頻度の高い神経疾患ですが、本邦におけるてんかん診療の実態、特に診療の質の把握は十分ではありません。どのような治療を受けて、その後どのような経過となっているのか長期的な転帰を明らかにすることの意義はとても大きいと考えます。特にてんかんは慢性の疾患であり、併存疾患が多く、多職種連携が極めて重要な疾患の一つであるため、医療圏におけるてんかん診療の実態を共有することの意義は極めて大きいです。そこで広島市を中心としたてんかんてんかん診療の現状を把握することを目的とし、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は年齢、性別、発作症状、血液検査、脳画像検査、脳波検査、治療内容などです。 診療録から上述の情報を研究に使用する際には、研究対象者の個人が特定できる情報を削除し、研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表は、各機関にて厳重に管理します。そのように匿名化された情報を用いて、各機関にて解析します。
主施設	広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文
共同研究機関	広島市民病院 脳神経内科 野村 栄一 広島市立舟入市民病院 脳神経内科 上利 大
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文
個人情報の保護について	調査内容は、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 なお、本研究で得られた情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性がありますので、永続的に保管させていただきます。将来新たに計画・実施される医学系研究に使用させていただく場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。その場合も個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありません。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目1番1号

Tel: 082-815-5211

広島市立安佐市民病院 脳神経内科 部長 穴戸丈郎

研究代表施設・問合せ窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel: 082-257-5201

広島大学病院 脳神経内科 助教 音成 秀一郎

研究機関：広島大学